

DXで東京の未来を創る組織に

GovTech東京業務執行理事兼CIO 中野啓太

——この秋、業務執行理事兼CIO（最高情報責任者）に就任しました。

これまでデジタル基盤開発本部長として三つのグループを束ねてきました。今回、理事に昇格してCIOという立場から、財団内の情報システムはもとより、都内自治体と連携したシステムやデジタルツールなどの共同化やクラウド化などのデジタル基盤の構築をリードすることになりました。身が引き締まることも、しっかりと役割を果たし

ていきたいです。

——これまでに携わった民間企業でも、内部管理やセキュリティ系のシステムを担当してきましたね。

最初はコンサルティングだったので今のGovTech東京（GTT）のようにテクノロジーサービスを提供する仕事でしたが、その後は消費者向けに商品を提供する企業のシステム部門でサービスを支えるための仕組みを作る仕事に携わってきました。GTTの共同化の取り組みは、民間で言えばグループ内の企業がそれぞれ違う仕組みを使っているものを共同調達することで生産性向上やコスト削減を図るのと同じようなものなので、応用しながらやっていきます。

——自治体ごとにカラーや財政規模も違いますが、共同化を進めるポイントは、

まずは定型的なサービスをまとめてコストを削減するな

ど、入りやすい部分から取り組むことが一つです。例えばパソコンはどの自治体も必要ですが、それぞれスペックや仕様が違っていたので、そろえて複数の区市町村でまとめて調達する。メーカー側も大量に提供できるので価格を低

廉に抑えることができます。昨年度はデジタルツールなどを含め20億円ぐらいの削減につながりました。

道具を合わせるというのは、コストが下がるだけではなく、同じものを使うことで使い方などのノウハウやナレッジの共有がしやすくなるというメリットもあります。共同調達に参加した自治体の皆さんからも非常に喜ばれました。

——行政DXを進める上で難しい部分は、

職員の変動があるので、情報を引き継ぐことが難しいという事情もあると思うんです

が、現状の技術的な情報を正

も少しずつ始めています。

——具体的には、

まずは会議時間を区切り、事前に資料を準備する。議事録もその場で作って次にやることを確認していく。結論を出すための会議であれば、時間を区切ってそこまで出す、などですね。

——一方でDXによる働き方改革は、

情報共有が第一ですね。例えばメールだと一方通行ですが、チャット系のツールであれば記録が残って共有でき、あとで確認することができ

る。今はAIが議事録を作ってくれますので、それを少しずつ修正すればすぐにメモができます。

——ファーストリテイリングでは海外展開の方で活躍されたそうですね。

小売業なので、商品を仕入れて在庫として持った上で店舗に配送して販売するという一連の業務はこの国も一緒ですが、それを支えるシステムが国によって違っていたので、日本の仕組みをパッケージ化し、言語だけ英語にして海外に導入しました。違う国で展開する際にはそれをコピーするので、展開するたびに安くなります。

——まさにGTTの取り組みと共通していますね。

共同調達もこういうことなのかなってのはあります。デジタル化の一番の利点

って、共通の仕組みを持つことだと思えます。例えば家

族で同じ携帯端末を使えば使

い方を互いに教えることができるのと同じで、行政でも民間でも同じことが起こっているわけですね。

——GTTの中期計画で打ち出した、将来的に海外へも貢献するというビジョンにも通じますね。

まずは東京都内で、しっかりとDXを進めていきます。

その仕組みがよいものであれば、都外にも展開できると思

います。先日北海道と長野県を視察しましたが、どちらも多くの自治体を抱える中、オンライン化やデジタル化を

共通で進めていました。オンライン化やデジタル化を

多くの自治体で提供できるという役割を担っていくことが非常に重要な部分だと思えます。自分がこうありたいと思う未来の姿をイメージして、

変えていく経験を積み重ね、変えていける組織になることが特にデジタル分野では重要だと思えます。

——CIOとしての抱負や職員へのメッセージを。

コンピューターの父といわれるアラン・ケイの言葉で、「未来を予測する最適な方法は自ら創ること」というのがあります。未来が来るのを待つのではなく、未来の仕組みを作ると宣言してコンピューターを創りました。私も民間で管理職になる前は、言われたことをしっかりと実行する役割がメインでしたが、そこから先は自ら目標を作らなきゃいけない。今回GTTで中期経営計画を作ったのも同じです。自分がこうありたいと思

う未来の姿をイメージして、前向きに取り組んでくれる文化を作るといのは大変です。例えば行政現場では古いシステムを長年使っていると

ころもあります。古い仕組みを変えるのは勇気がいります。でも、変えていく習慣を作らないと何十年も同じものを使い続けることになり、社会の流れにも合わなくなる。サービスが古いと住民の利便性も低くなる。勇気を持って

います。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを

持っていたのですが、そんな目標もデジタルサービス局とGTTの皆さんとなら実現できるんじゃないかなと思っています。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを

持っていたのですが、そんな目標もデジタルサービス局とGTTの皆さんとなら実現できるんじゃないかなと思っています。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを

持っていたのですが、そんな目標もデジタルサービス局とGTTの皆さんとなら実現できるんじゃないかなと思っています。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを

持っていたのですが、そんな目標もデジタルサービス局とGTTの皆さんとなら実現できるんじゃないかなと思っています。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを

持っていたのですが、そんな目標もデジタルサービス局とGTTの皆さんとなら実現できるんじゃないかなと思っています。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを

持っていたのですが、そんな目標もデジタルサービス局とGTTの皆さんとなら実現できるんじゃないかなと思っています。

今年4月にGTTに参画する際、「東京を世界一のテクノロジーにする、テクノロジーの街にする」という想いを



なかの・けいた=1970年生まれ。アクセントやファーストリテイリング、日清食品などを経て今年4月にGTTに参画。言葉を丁寧を選びながら話す姿が印象的だが、「実は人見知りです」と思案な性格」とは本人評。性格を変えようと、高校では演劇部に。「しっかりと言葉を発する」という習慣がつかまりました。コロナ禍のリモートワークで日課になった猫の世話と、仲間とプレイする週末のゴルフが良い気分転換に。